極点図の対称操作

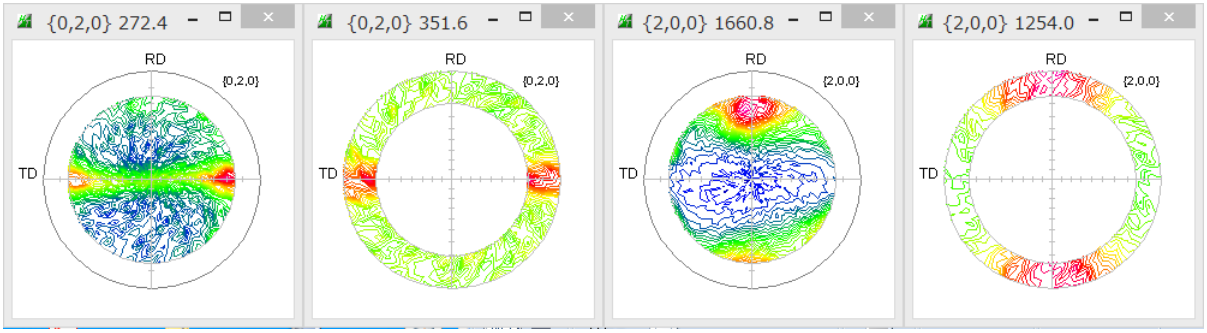
概要

高分子材料などでは、透過極点図、反射極点図を測定し、極点処理を行い、データの接続を行い完全極点図を作成し、極点図の解析を行う事があります。

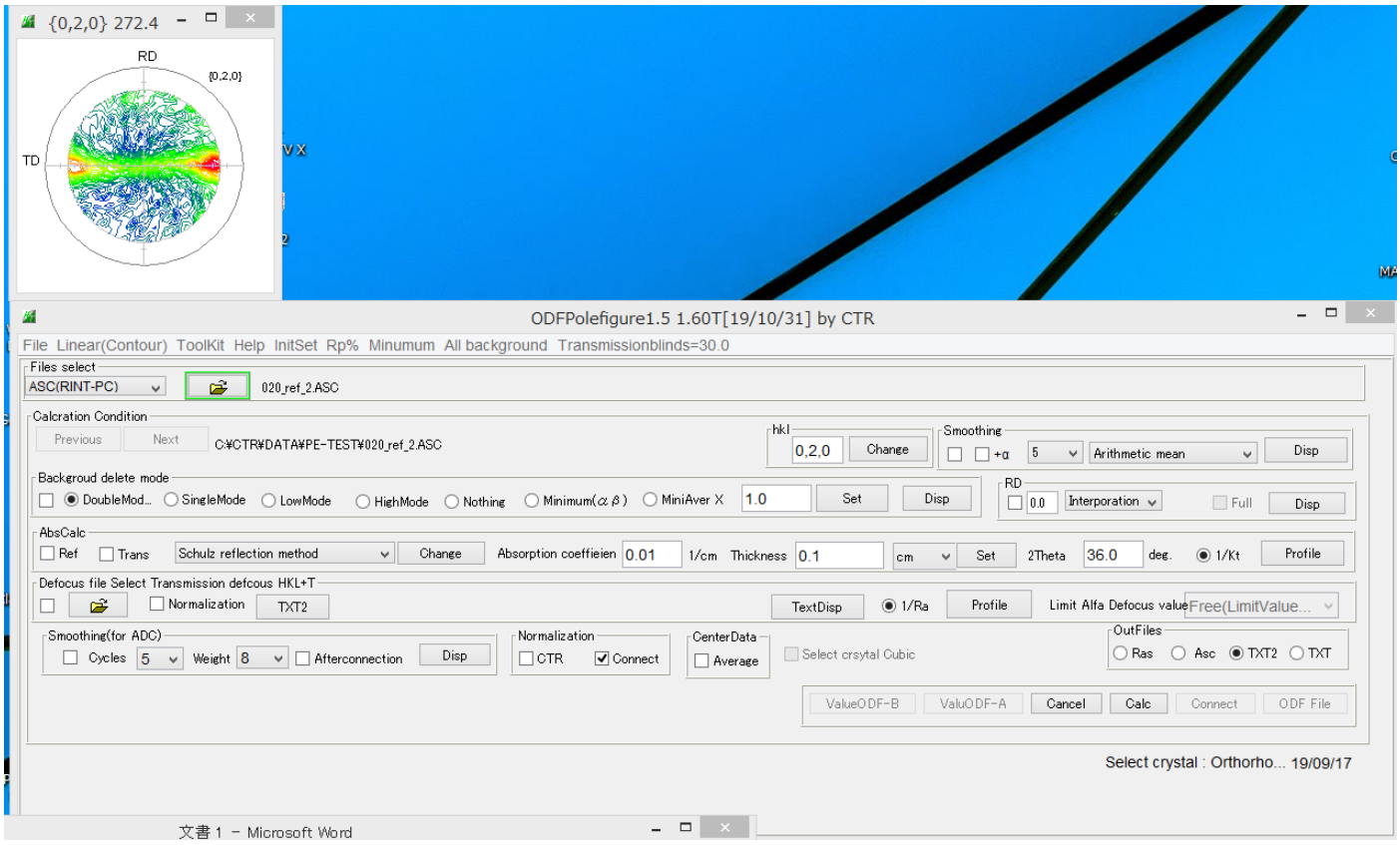
この時、極点図の対称操作（１／２対称、１／４対称）を行う事があります。

ＣＴＲソフトウエアで高分子材料の対称極点図を得る手順を説明します。

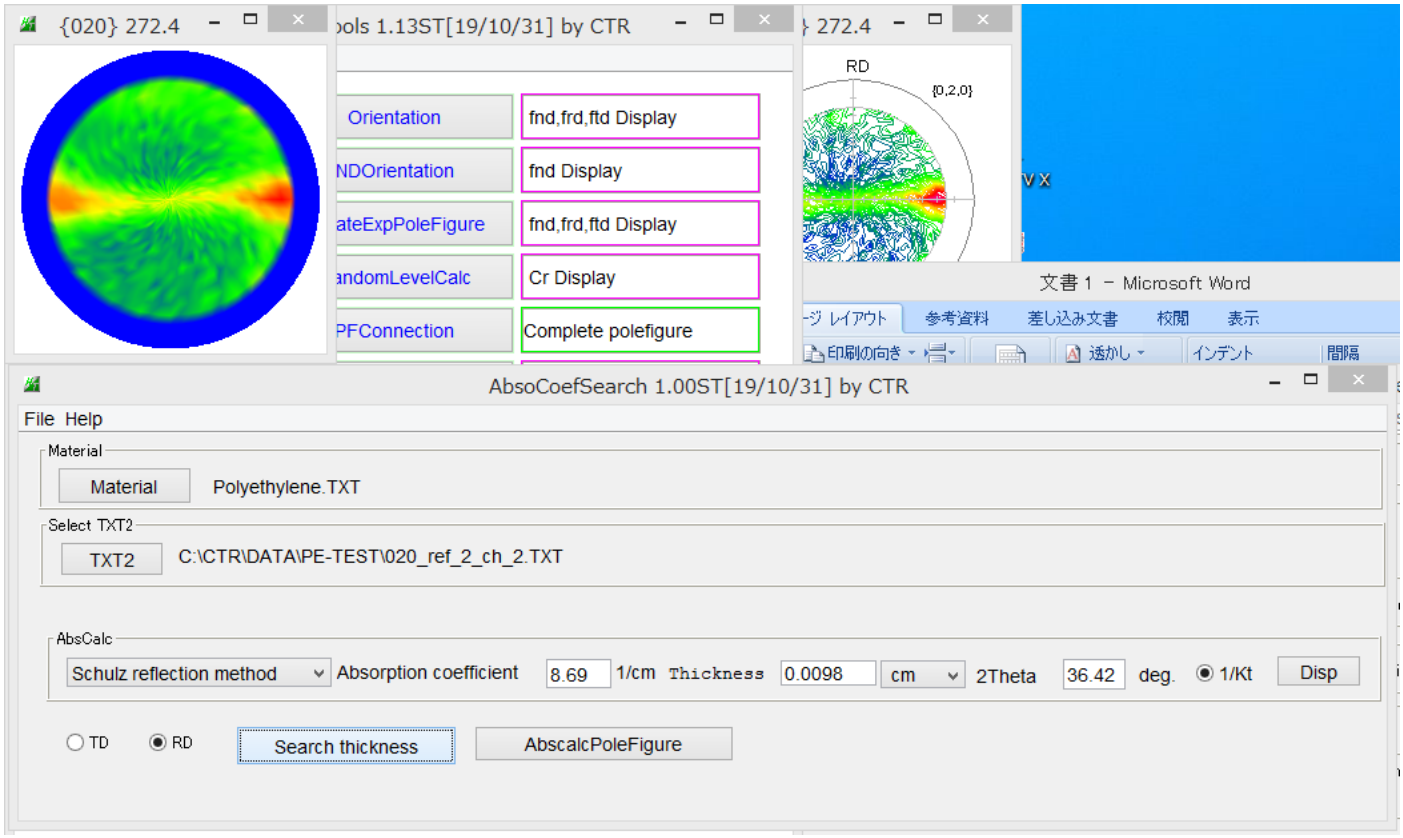
入力データ



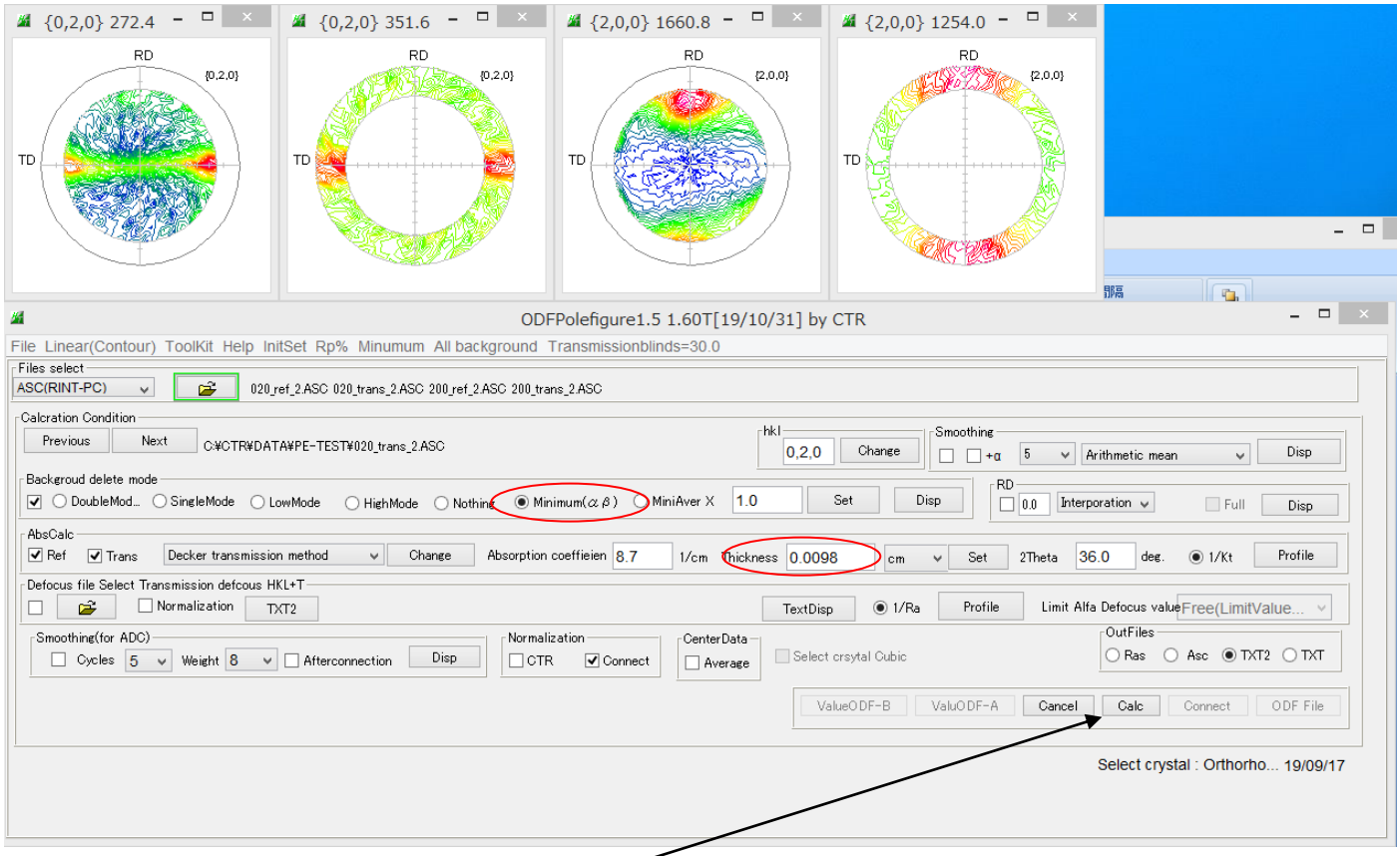
材料の厚さを得るために｛０２０｝極点図を TXT2 に変換



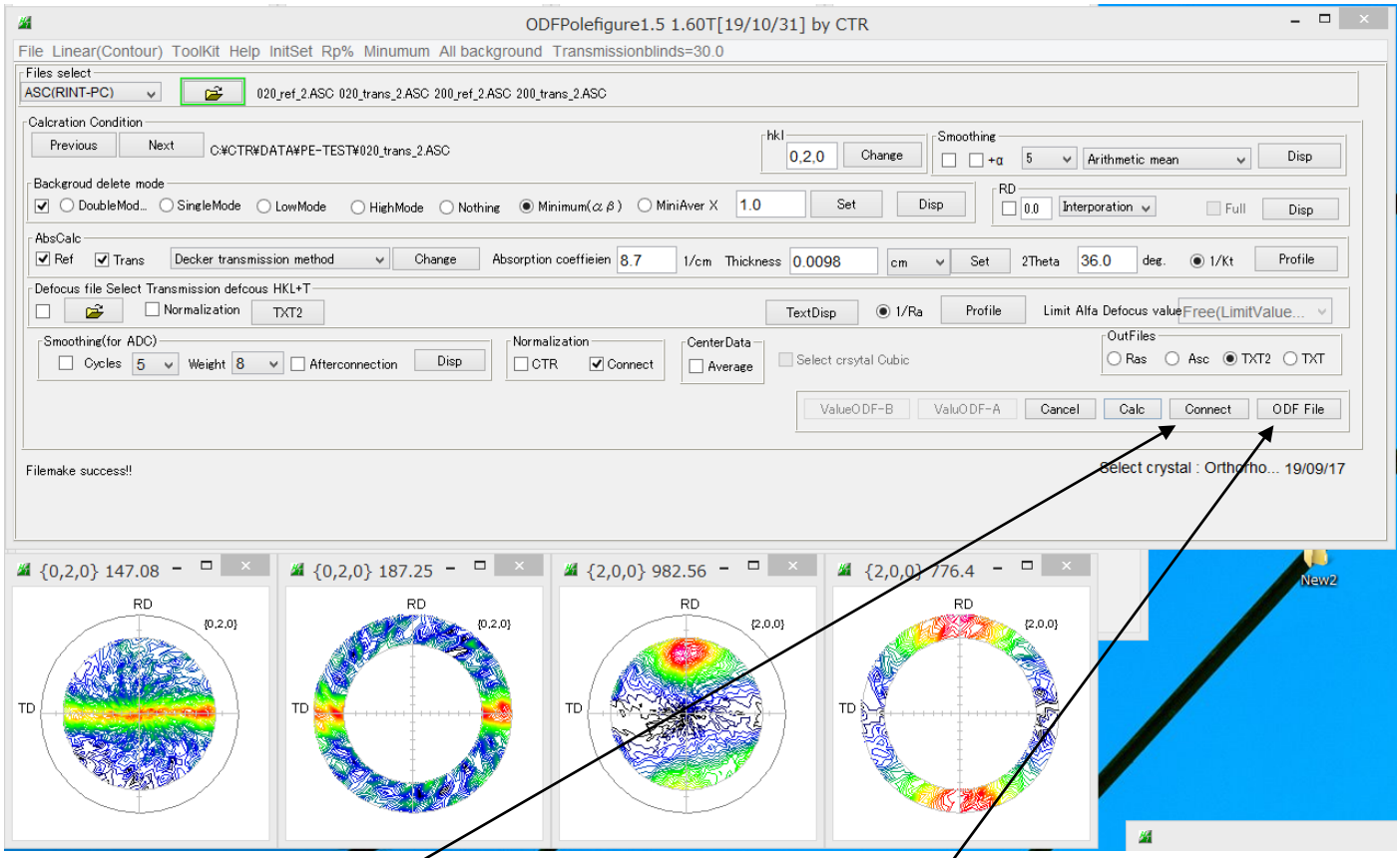
｛０２０｝極点図から材料の厚さを計算　０．００９８ｃｍを得る。



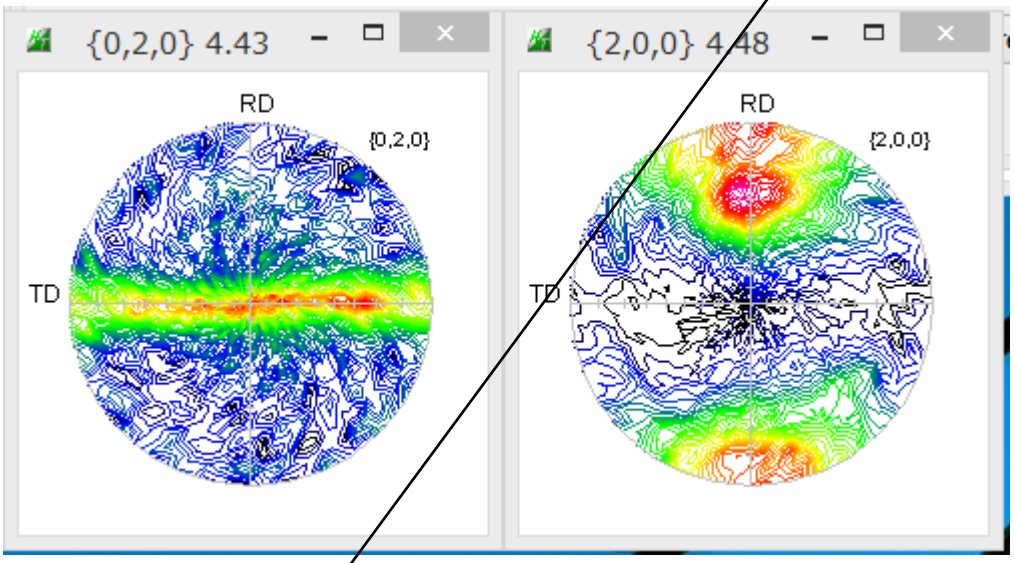
厚さ０．００９８ｃｍで計算



補正を行う。



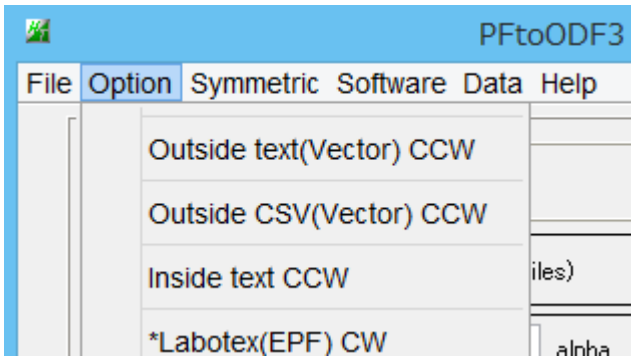
データの接続を行う。

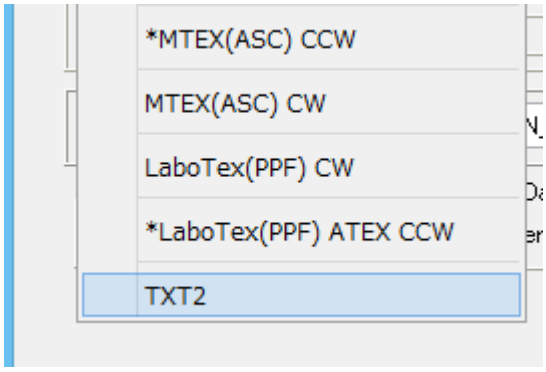


PFtoODF3 にデータを渡す。

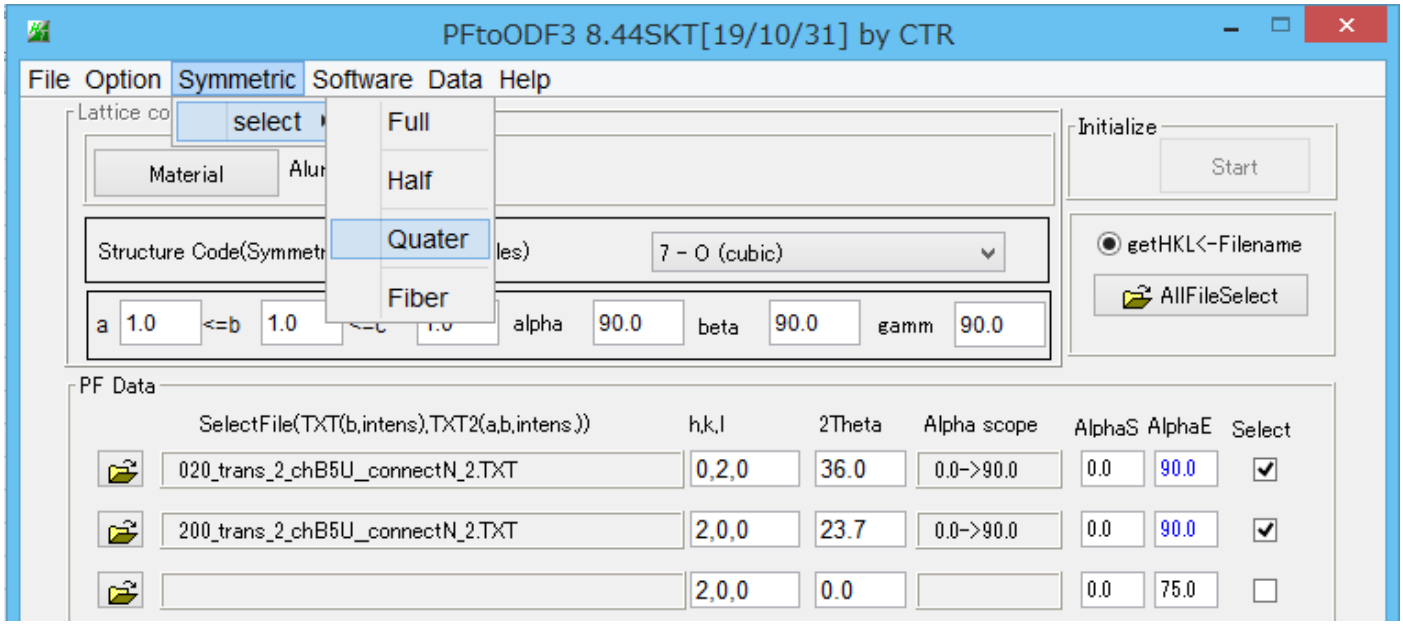
ＰＦｔｏＯＤＦ３ソフトウエアで極点図の対称操作

作成するファイルは TXT2

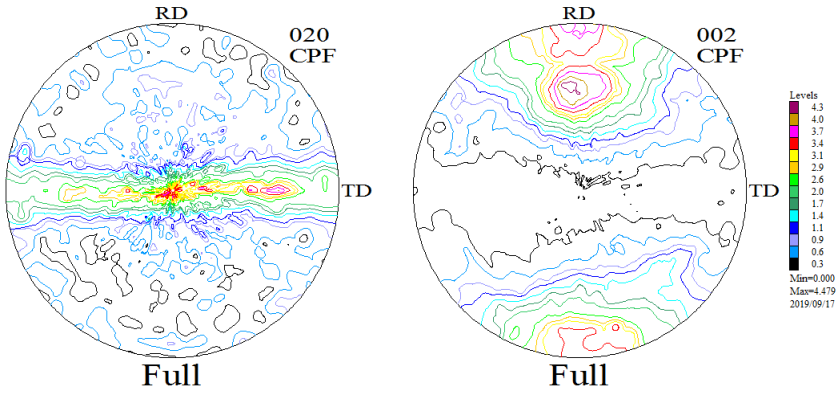




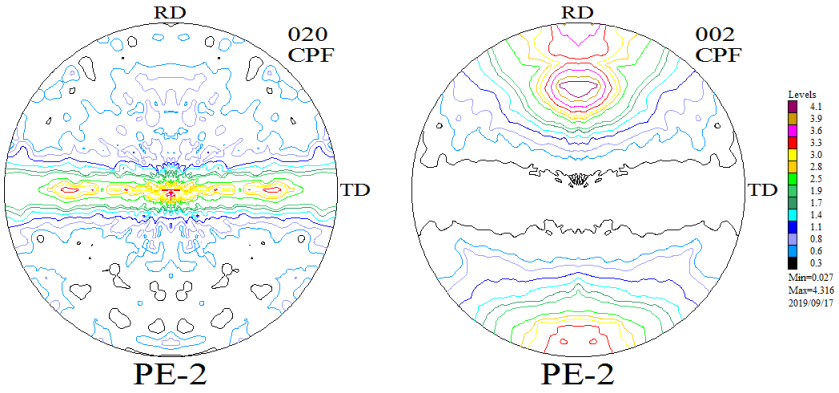
対称操作を選択



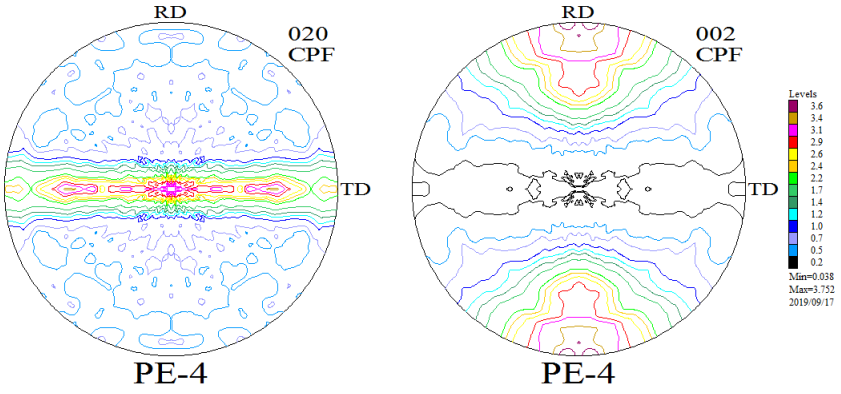
Ｆｕｌｌ（Ｔｒｉｃｌｉｎｉｃ）



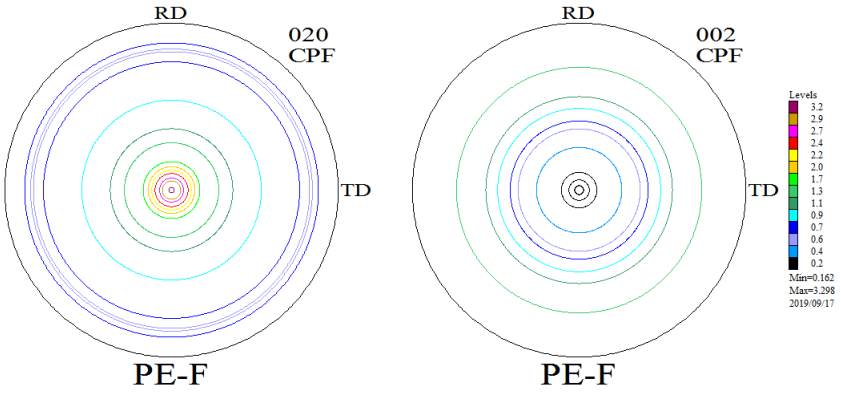
Ｈａｌｆ（Ｍｏｎｏｃｌｉｎｉｃ）｛ＣＴＲではＲＤ軸対称としています｝



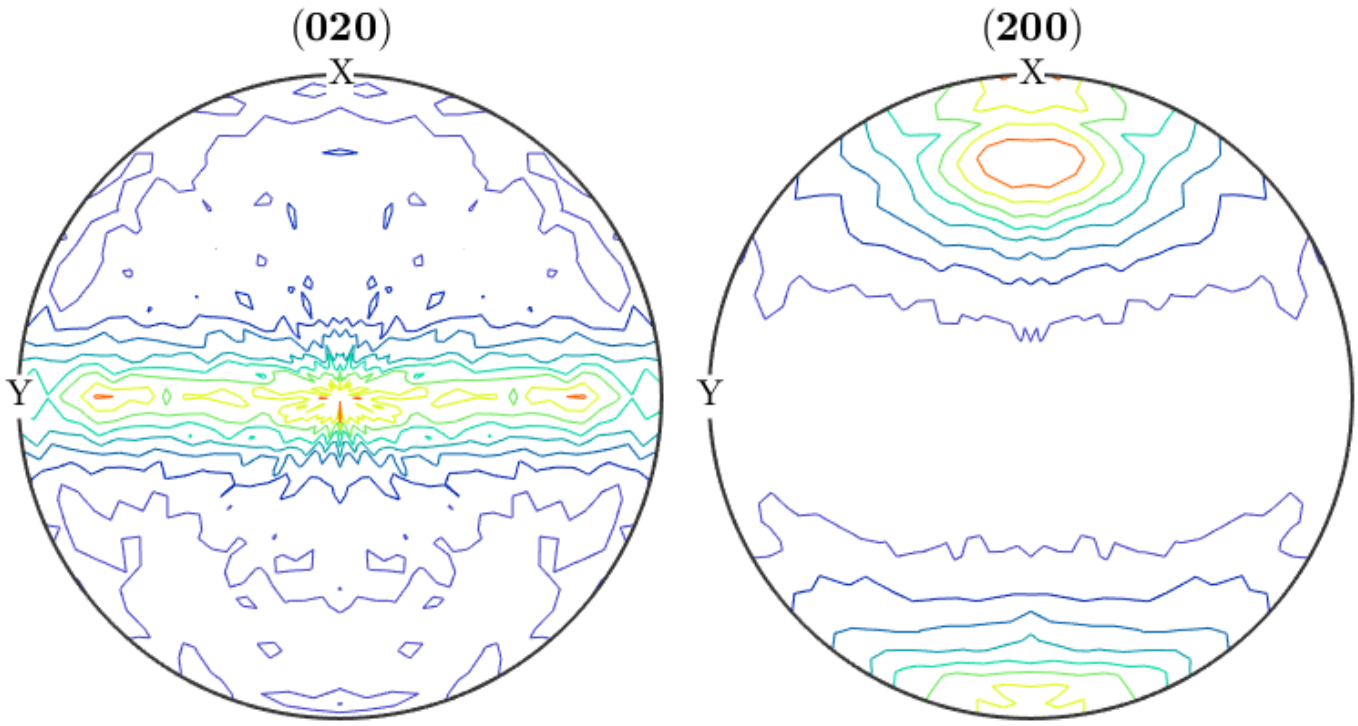
Ｑｕａｔｅｒ（Ｏｒｔｈｏｒｏｍｂｉｃ）



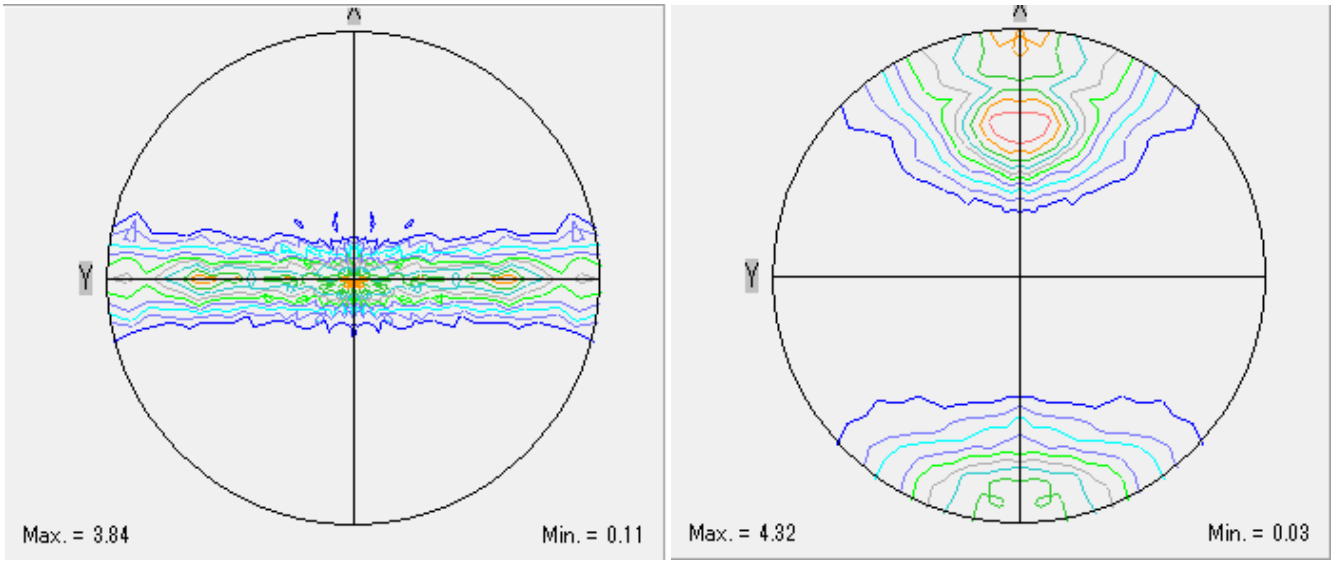
Ｆｉｂｅｒ（Ａｘｉａｌ）



ＭＴＥＸでＨａｌｆを表示

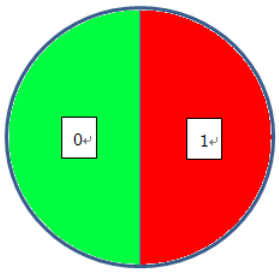


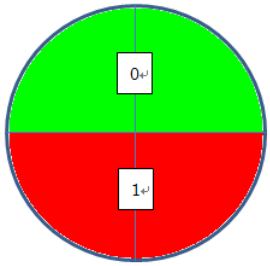
ＴｅｘＴｏｏｌｓでＨａｌｆを表示



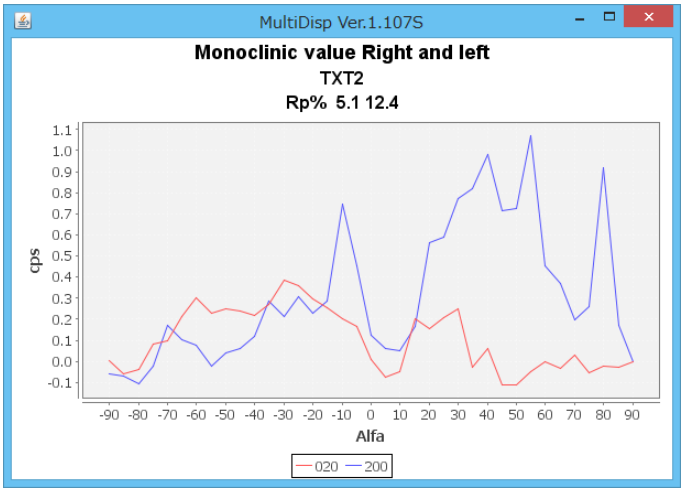
ＭＴＥＸ表示では、等角度表示されている事が分かります。
オプションで等面積（ポーラネット）表示出来るかもしれません。

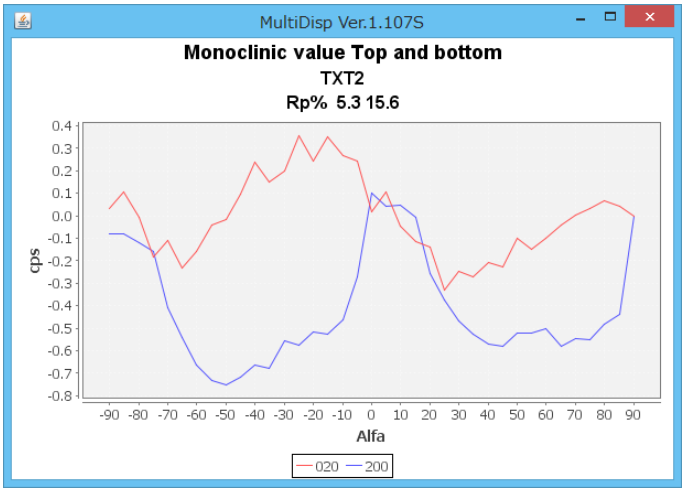
対称性ｃｈｅｃｋ



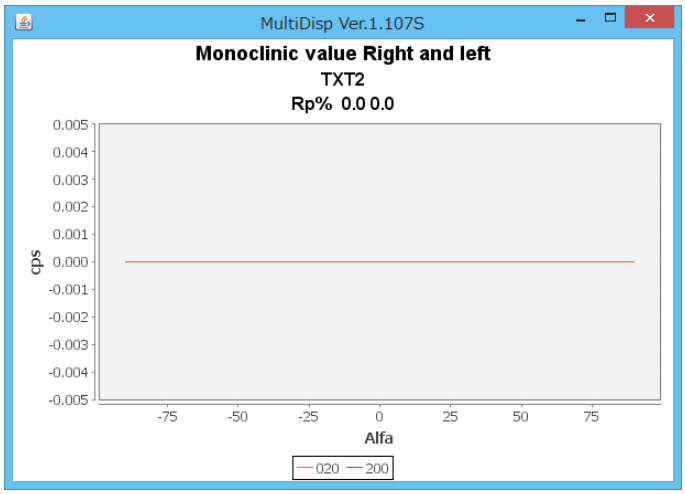


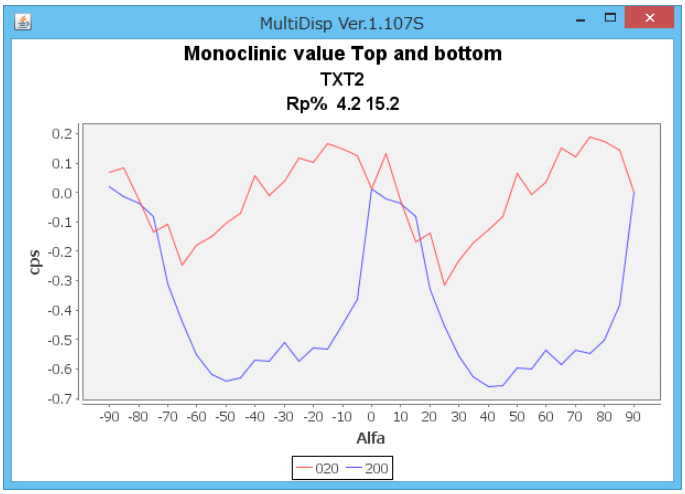
Ｆｕｌｌ





Ｈａｌｆ





Ｑｕａｔｅｒ